

## 土壌有害物質のリスク管理対策（継続）

### 1 趣 旨

消費者の食の安全に関する関心が高まっている中で、農作物の安全性を確保していくためには、土壌有害物質等のリスク管理を的確に進める必要がある。

特にカドミウムについては、今後想定される国内農作物に関する基準の強化への的確な対応と農作物の汚染を全体的に低減させていくことが重要である。このため、従来のような農作物のカドミウムの分析結果に基づく対策から、土壌の特性に着目し、カドミウム汚染を未然に防止する対策への切り替えが必要である。

こうしたことを踏まえ、農用地土壌汚染防止法に基づく客土等の恒久対策等を実施するとともに、営農対策によるリスク管理を的確に進める観点から、土壌データに基づく潜在的な農作物の汚染リスクの推定手法の検証及び有害物質の低減化技術の実証等を行い、もって食の安全・安心の確保を図るものとする。

### 2 事業内容

#### (1) 有害物質低減化技術の実証等

ア 土壌データに基づく潜在的な農作物の汚染リスクの推定手法の検証

イ 豆類、野菜類等に係るカドミウム吸収抑制技術、カドミウム高吸収植物を用いた土壌浄化技術の実証

#### (2) 農用地土壌汚染防止法に基づく対策計画策定に必要な調査、農用地における汚染除去のための客土等の恒久対策に先立つ応急対策の実施

#### (3) 小規模（10ha未満）の農用地の汚染除去のための客土等

### 3 事業実施主体

- (1) (2) 都道府県 等
- (3) 都道府県、市町村

### 4 交付率等

- (1) (2) 定額
- (3) 5.5 / 10以内

### 5 平成18年度概算決定額

- (1) (2) 食の安全・安心確保交付金  
2,702 (2,742) 百万円の内数
- (3) 60 (90) 百万円

【担当課：消費・安全局 農産安全管理課】